

医学部合格を 勝ち取る大事な ポイントについて



富士学院 學院長
坂本 友實

難関の医学部合格に、たまたまやまぐれで合格をするという事はありません。全ての合格は、偶然ではなく必然です。そこには必ず合格を勝ち取る事ができたいくつかのポイントがあり、そのポイントを知る事はまさしく合格に大きく近づく事になります。本稿ではその「合格を勝ち取る大事なポイント」について簡潔にまとめ、皆さんにお伝えしたいと思います。

私はこれまでたくさんの受験を応援し、それこそたくさんの合格に立ち会ってきました。中には奇跡的な合格もありましたが、合格を勝ち取った受験生達には、絶じて多くの共通点があります。まずはこここの部分からお話をします。その共通点とは、『自分自身が医学部に合格できる事を信じ、最後まであきらめずに努力を続けた』という点です。この最後まであきらめないと強い気持ちが、多くの逆転合格もつながらっていきます。そしてこれは受験までの期間だけではなく、受験期間中も全て含めての事です。特にセンター試験や私立の一次試験が始まつてから、国公立の後期日程試験や私立の後期試験が終わるまでの、約2ヶ月間の長い受験期間中の過ごし方や頑張りは、まさしく合否を大きく左右します。センター試験や私立の最初の一次試験で結果がでなくなると、そこであきらめるのか⁈前期・後期試験やその後の私立の試験に向かって最後まで頑張れるのか⁇の場合はメンタル面も含めて、とても重要なポイントとなります。

そしてもう一つの共通点は、自分自身の現状分析が、しっかりとできているという点です。正しい現状分析ができるこそ、合格に向けて足らない部分やまたやるべき課題も見えてきます。またこの正しい現状分析は、合否を左右する「出願校」の選定にも大きくかかわってきます。合格を勝ち取るポイントの一つが『どこに出願をするのか』その『出願先の選定』と『出願先の対策』です。特に国公立一般入試では、前期日程後期日程共に一校しか出願する事ができません。国公立入試では、センター試験で高得点を取ることが求められますが、大学独自試験の二次試験との兼ね合いでの出願先を間違うと仮にセンター試験で高得点を取つても、不合格になってしまいます。私立を含め、大学毎で問題のレベルが違い、また出題の形式や範囲が違います。その他、出題の傾向や配点、直接などの評価基準が違う中、大学毎の正しい入試情報の取得は必須であり、この大学毎の入試情報報と自身の現状が正しく把握でき

の一つである“正しい出願先”的選定が可能になります。また私立においては受験日程が合えば何校でも受験する事ができるため、受験スケジュールの精査を含めた受験校の選定と二次試験を考えた受験日程の調整もひとつつのポイントとなります。その上で、受験する大学の対策をしつかり取る事が、合格を勝ち取るために大きなポイントとなります。

は受験科目全体で合格最低点を上回る事です。得意 不得意科目やその他分野を含め、合格最低点を意識した学習バランスが必要です。また入試本番では特にこの合格最低点を意識しましょ。合格には100点満点は必要ありません。どう考えて もわからない、また知らない問題は深追いをせず、捨てる勇気も必要です。自分自身が解ける問題を確実に解いていく、これも合格へのポイントとなります。

簡潔にまとめてみましたか。いずれにしても医学部入試は他の学部と違い、医師になる人を選択する試験でもあるので、ただ単に学力だけあっても、それがそのまま医学部合格には直結しません。そういう事も含めて、医学部合格を勝ち取る一番のポイントは、『医学部受験の学習環境』にできる限り縁をしていくことです。人は環境で大きく変わります。勉強を頑張れる環境で、仲間と切磋琢磨できることで、必ず成績が伸びます。

そ れではここで、その他のボ
イントについて少し具体的
にお話をします。受験者が多い医
学部入試では、1点差に数十人の
受験生がいるといわれます。特に
合格のボーダーライン前後では、
まさにその1点の差が合否をわけ
ます。ここで考えなければいけな
いのが科目毎の学習バランスです。
受験する科目の学習バランスをど
う取るのか!? ここも合格へのポイ
ントとなります。ここで特に意識
をしたいのが、合格最低点です。
入試は合格最低点を0・5点でも
上回れば合格を果たし、逆に下回
れば不合格となります。大事なの

そしてもうひとつポイントは面接対策をしつかりと行うということです。近年の医学部受験は各大学共に面接試験がこれまで以上に重視される傾向にあります。成績開示データを見ても、面接点の差で合否がわかれたり、学科試験で点を取っていても面接で落とされるケースも最近よく見られます。面接試験は個人面接・集団面接・グループ討論など大学毎で様々な形式があり、またその評価方法も大学毎でかなり異なりますので、できる限り情報を取り、対策を取っていく必要があります。

以上、合格のポイントについて

る「学習環境」また最新の医学部入試情報やこれまで蓄積された様々な入試データの存在、そしてそれらの情報やデータが生徒一人ひとりにしつかりと生かせる環境こそが、「医学部受験の学習環境」です。ぜひ貴方にとて最も良い医学部受験の学習環境を見つけて、難関の医学部合格を勝ち取って下さい。そして良医に向かっての道をまっすぐに進んでほしいと思います。最後に何か医学部受験についてのご質問やご相談がありましてご連絡下さい。一人ひとりのご相談に真摯に対応させて頂きます。

医学部受験 富士学院

東京 : ☎ 0120-01-9179
名古屋 : ☎ 0120-9816-33
岡山 : ☎ 0120-9179-00
小倉 : ☎ 0120-08-9179
福岡 : ☎ 0120-5251-22
鹿児島 : ☎ 0120-66-9179

富士学院
医学部合格の為の受験情報誌
“あしたのひと”最新号を
ご希望の方に差し上げます。▶
左記TELもしくはホームページからご請求下さい。(無料)



